

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成28年4月7日(2016.4.7)

【公開番号】特開2014-159647(P2014-159647A)

【公開日】平成26年9月4日(2014.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2014-047

【出願番号】特願2013-29615(P2013-29615)

【国際特許分類】

D 06 P 5/00 (2006.01)

D 06 P 5/20 (2006.01)

G 02 C 7/00 (2006.01)

【F I】

D 06 P 5/00 D

D 06 P 5/20 C

D 06 P 5/20 D

G 02 C 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月19日(2016.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

設置部に設置された樹脂体を加熱することで、前記樹脂体の表面に付着した染料を前記樹脂体に定着させて、前記樹脂体を染色する染色装置であって、

電磁波を発生させる電磁波発生手段と、

前記電磁波発生手段から前記樹脂体に照射される電磁波の強度分布を調整する分布調整手段と

を備えたことを特徴とする染色装置。

【請求項2】

前記分布調整手段の少なくとも一部は、前記電磁波発生手段と前記設置部との間に設けられ、前記電磁波発生手段によって発生された電磁波の一部を通過させる開口部を有することを特徴とする請求項1に記載の染色装置。

【請求項3】

前記開口部の大きさおよび形状の少なくとも一方が異なる複数の前記分布調整手段の各々を着脱可能に装着する装着部をさらに備えたことを特徴とする請求項2に記載の染色装置。

【請求項4】

前記分布調整手段は、大きさおよび形状の少なくとも一方が異なる複数の前記開口部を備え、

前記分布調整手段の姿勢または位置が切り替えられることで、前記複数の開口部のうち、電磁波の強度分布を調整する前記開口部が切り替えられることを特徴とする請求項2又は3に記載の染色装置。

【請求項5】

前記電磁波発生手段と前記分布調整手段の距離、および、前記分布調整手段と前記設置部の距離の少なくともいずれかを変化させる距離調整手段をさらに備えたことを特徴とす

る請求項 1 から 4 のいずれかに記載の染色装置。